

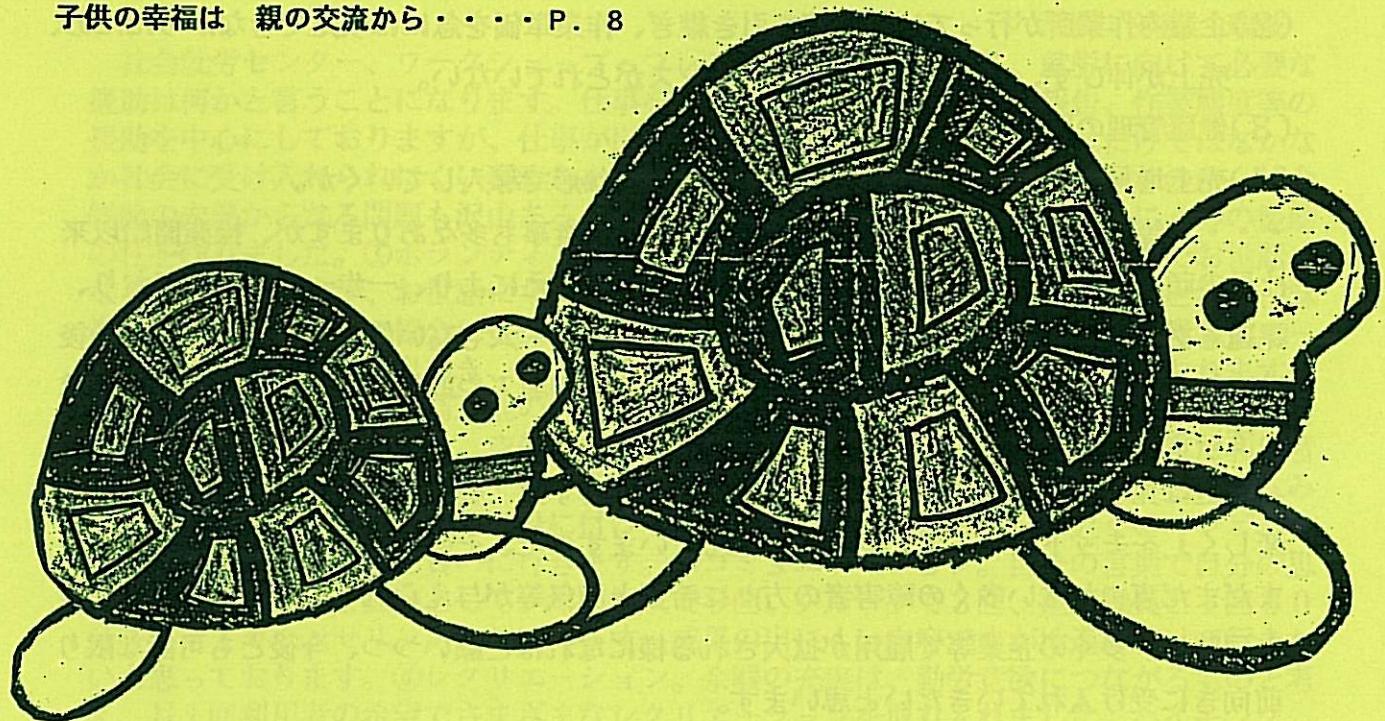
すずらん

Vol. 4

もくじ

- 特例子会社設立の経過と今後 ····· P. 2
スリーエムフェニックス 大神田 正己氏
法人の将来計画 ········· P. 3
ワークショップ・フレンド ····· P. 3
エリアPR ········· P. 4・5
みんなの声 ········· P. 6
委員会だより ········· P. 7
「選択する福祉サービス」を目指して P. 8
子供の幸福は 親の交流から ····· P. 8

絵：石塚 司
(地域活動センター・タートル)
題字：中村由紀子
(地域作新・
ワークショップパートナー)



発行日 1998年3月17日

神奈川県相模原市麻溝台743

社会福祉法人 すずらんの会

理事長 大長 義信

☎ 0427-77-1790



特例子会社設立の経過と今後

スリーエムフェニックス（株）

大神田正己

昨年10月16日に特例子会社の設立登記を行い、同11月4日より操業を開始したわけですが、またたく間に3ヶ月が過ぎ、月日の経つのがこれ程速く感じられた事はありませんでした。特例子会社の設立に関しては、四年程前からプロジェクトチームを作り、他社事例等の研究をしながら取り組んで来ましたが、検討が本格化したのは昨年の6月頃からでした。結果として4~5ヶ月という短い期間の中で進める事が出来た訳ですが、それには職業安定所を始めとする行政機関や雇用システム研究会からの援助や協力と、同時に企業内作業所を通じてのすずらんの会の協力が大きな力となりました。ここに多くの方々にお礼を申し上げる次第です。

現在社員は12名で、内11名が障害者（重度4名）の方となっていますが、平成10年度は新たに3~4名の採用を予定しております。また、業務指導についてはパート社員6名が常時3名体制で行っています。業務内容は、スムースに会社を立ち上げるという観点から、企業内作業所ワークショップ・SUNの仕事を受け継ぐ形をとりました。お陰様でスムースにスタートをきる事が出来ました。

しかし、準備段階から今後に向けての色々な課題もあります。

- (1)短期間で設立したため、充分なスペースの確保が出来なかった。
- (2)企業内作業所が行っていた業務を引き継ぎ、作業単価を急には改定できなかったため、売上が伸びず、企業としての収支バランスがとれていない。
- (3)健康管理の問題（肥満・加令等）。
- (4)売上増加対策として、今後新規業務をどの様な形で導入していくか。

等々、今後も引き続き検討を加えて行くべき事も多々ありますが、操業開始以来社員の頑張りや指導員の方々の努力や関係者のお力添えにより、一步一步前進しており、課題もクリアー出来ると確信しております。社員一人一人も高い能力を持っており、今後は実績を作りながらそれぞれの能力が生かせる業務の導入や取り組みを、積極的に推し進めたいと思っています。

最近は見学者や取材等多くの方が来られていますが、会社としては「安全で・明るく・楽しく」をモットーとして仕事に取り組んでいますので、その辺りを見学者等に見て戴き、まだまだ恵まれない多くの障害者の方々に希望と勇気等が与えられる一助になればと思うとともに、多くの企業等で雇用が拡大される様になればと願いつつ、今後とも可能な限り前向きに受け入れていきたいと思います。

障害者と社会と家庭が一層協力し合い、ノーマライゼイション実現に向けて共に頑張りましょう。

法人の将来計画について

ワークショップ・フレンド
部長 松屋直人

今後障害福祉の分野においても、ノーマライゼイション・地域生活・生活の質向上等に向けて、具体的に制度そのものの大きな改革が行われていくものと思われます。ただ、現状制度は施設中心であり、より充実した支援を行うには施設を拡充せざるを得ない状況です。

当法人として本来持つべき機能のうち、欠けている部分及び不足している部分については今後整備しなくてはならないし、利用者へのサービス向上及び運営の安定を図る目的で、地域作業所／地域活動センターの法内施設化（分場化）を計画していきたいと考えています。以上の目標に沿って、現在具体的に着手している計画は下記表の通りです。

年度 時期 計画

種類	精神障害者通所授産施設	生活ホーム	分場（フレンド）
名称(跡)	グリーンハウス	なるみハイツ	ワークショップ・SUN
定員	40名	5名	18名
設置場所	市内麻溝台7丁目	市内大島中の原	市内小町通2-8-15
開設予定	平成11年4月	平成10年4月	平成10年4月
備考	特に利用期限を設定せず。企業下請け及び農園芸作業。	市北部への通勤者用に開設。	作業所の施設化。2カ所の作業所を統合し分場化。

また、将来的には高齢障害者の生活支援体制の確立（ホーム等）や、児童から高齢者まで何時でも誰でも利用できる場所の確保、自主製品の販売拠点（ショップ、喫茶室等併設）等を検討・計画していきたいと考えています。

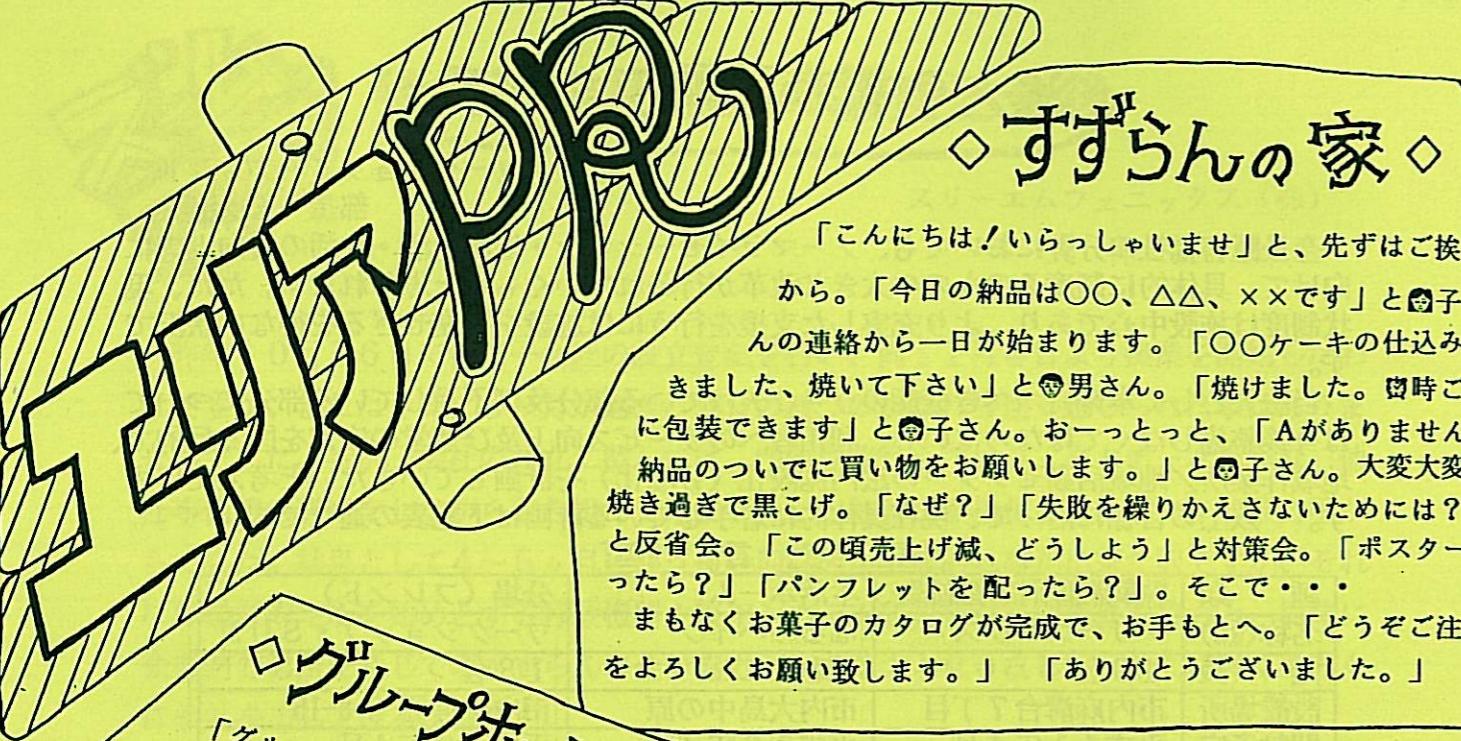
以上

ワークショップ・フレンド

課長 遠藤 瑞枝

社会就労センター、ワークショップ・フレンドの役割を考えた時、就労に向けて必要な援助は何かと言うことになります。仕事をしていく上で必要な挨拶、報告、作業態度等の援助を中心にしておりますが、仕事が出来る事はあたりまえですが、それだけではなかなか社会に受け入れられにくい現実もあります。それではどの様な援助が必要なのか、社会経験の未熟からなる問題も沢山あると思われるところから、今年は作業以外に4つの援助の柱を作りました。①ボランティア。日頃ボランティアさんには余暇、行事等でお世話になる事がありますが、お世話になるばかりではなく利用者にも出来る事があると考え、麻溝地区のボランティア協会に登録しました。第一月曜日、第三金曜日は特別養護老人ホーム、あさみぞホームに出向き、室内の清掃や落葉掃き等をやらせていただいております。第四金曜日には原当麻駅周辺他の空缶、ゴミ拾いをしておりますが「ご苦労様」と声を掛け下さる方もいます。又、空缶を拾う事で捨てる者の立場を批判する目を持った利用者も出てきました。②生活自立です。上履き洗い、歯磨き、髭剃り、お化粧等、身だしなみに関わるところと、金銭感覚を身に付けるという事では、毎週木曜日に近くのコンビニへ550円を手にお弁当を買いに行きます。③コミュニケーション。自分の言葉で自分の思いを表現出来る事を狙いとして、年間個人で9回、グループで3回、担当職員と1回30分をとってカウンセリングをしています。成果の出にくい内容ですが地道に続けて行きたいと思っています。④レクリエーション。余暇の充実は、勤労意欲につながるものと考え、月1回利用者の希望でさまざまなレクリエーションを取り入れました。ハイキング、映画鑑賞、ぶどう狩り等、バラエティにとんだ内容となっております。すぐに結果は出にくい事ですが、積み重ねた経験が大きな財産となる事を信じ、援助していきたいと思います。





まもなくお菓子の
をよろしくお願ひ致
□ グループホーム・生活ホーム
グループホーム・生活ホームってどんな
んなことしているの?」と尋ね
の中で障害を持

◇タートル◇

下請け作業の取引先「三協株式会社」には毎朝配送にでかけます。今まででは職員だけでしたが、荷物が多いこともあり利用者の方にも一緒に行ってもらうことにしました。自分たちが作業した自動車部品等がどんな会社、どんな担当者に持っていくかが分かり、仕事への意欲もぐんぐん高まってきています。下請け作業の合間をぬってマーブリング（和紙染め）をしています。以前から包装紙として使える大きなものが欲しいという要望があり、何とか $50\text{cm} \times 80\text{cm}$ の紙が上手に染められる様になりました。先日は贈答用に何と200枚！といううれしい大量注文もありました。ところで、親戚・お知り合い等でお忙い事はありませんか？祝儀袋用の水引は作るのが難しいので、使い終わったものをリサイクルしていただき、製品にしています。御協力お願いします。

暖花 ◇ ◇

「花暖」は年齢・体力的に企業の中ではきつくなってきたと思われる方、大集団より小集団の方が、力を發揮できそうな人、ゆったりとした中で作業の進む場所がっている方など、10名の利用者と職員3名で運営しています。今後は作業所内の作業から「地域の中に根をはやしていく」「なるべくたくさんの人と出会うために、現在週1日行っているショッパー（広報紙）の配布の様なものや、ボランティア活動も含めて、作業所の外に出る機会を増やしていこうと思っています。また、利用者ひとりひとりの作業以外に興味のあること（趣味など）を少しでも援助できればと考えています。

◆ワーカーショップ SUN ◆

△ワークショバ

11月からSUNは、今までの作業室とテープの仕事を3Mフェニックスへ受け渡し、3名は以前からの抜き加工作業、7名はスリーエム肺ヘルスケアで医療器具の検査、ラベル貼り作業へと大きく変わりました。大きなテープに比べ、小さなラベル(1cm角位～)を貼る作業は、今までの作業の流れと違い、戸惑いながらも指定された所(線の上にとか角から2mm離れた所など)に誤差のない様、真剣に取り組んでいます。何ヶ月後、何年後かには、就労する事を目的に、もくもくと仕事に励んでいます。

◆ヘルピングバス◆

ヘルピングハンズでは、今年度に入り2つのことを新しく始めました。1つはリトミック教室の開催です。音楽を聴きながら体で表現をする、リズムを体で楽しむなど、みなさんに音楽に親しんでもらえたらと考え、始めました。決まった対象年齢ではなく、小学校低学年の方から作業所へ通われている方まで幅広い年齢の方が参加しています。毎週木曜日午後4時から1時間、ヘルピングハンズ内で行っています。1回500円です。みなさんも一緒に参加してみませんか？興味を持たれた方はいつでも見学にいらして下さい。もう1つは、24時間レスパイトです。緊急一時利用の枠を超え、生活ホームと連携をとり、宿泊サービスを始めました。利用希望のある場合には、登録していただき、利用希望日の7日前までに申し込みをしていただく様になっています。今年度は法人内の方を対象として実施しています。その他、お預かりや送迎のサービスも行っています。今後もよりよいサービスが提供できる様に努力していきたいと思っています。

ワーカーショップ パートナー

大協技研工業㈱小町工場内で作業を行うようになり一年半が経過しようとしています。最近では何十種類かある作業を覚え、「〇〇の作業を始めます」と伝えると一斉にその作業に必要な道具を揃え、つぎつぎに「準備できました。」と大きな声が聞こえるようになりました。作業は椅子に座ってじっくり行うものが多く、スポーツに例えるならば、団体競技ではなく個人競技といった感じですが、一人、一人が良い製品を作り、お客様に喜んでもらえるよう真剣に取り組んでいます。

メンバーは、お金がたくさんほしい人、就労にむけて頑張っている人、いい男になるため努力中の人等、さまざまですが、それぞれの目標をかなえていく援助ができればと思っています。

◆フレンドリーサービス◆
(訪問サービス)
一人のひとり

（「サービス」）
「一人の人として、地域の中で暮らすための支援」の一環としての活動をしています。人は社会の中で、他人と拘わりながら自分自身を認識して自己実現に努めていくものだと思います。家庭での安定した生活を支援し、地域の中での暮らし方に関わり、社会参加の意識を高め、社会参加を阻む諸々の事を調整、援助し、地域とのパイプ役になれたらと思います。

ロフレンドドリーランド
ガーデンシロ
センター(相武台
の店舗)

新相模原ショッピングセンター（相武台団地そば）の一角にあるフレンドリーガーデンの店舗では、昨年10月まで毎週水曜日のみ販売を行ってきましたが、11月より月～水曜日と週3回の販売となりました。隣近所のお店の方のご協力やお客様の口コミによって少しずつですが、店の存在が知れ渡るようになってきました。と同時に利用者の皆さんが4時から5時の間販売をやってくれるようになりました。当初1人の利用者がただでしたが、今年1月から3～4人になり、時々お茶をしながら店番をやってくれています。あくまで自主的な日によってメンバーも違いますが、お客様と接する機会が増え、少しずつですが、自信がついてきたように見えます。

みんなの店

-余暇について-

Q. 休みの日は決まった活動をしていますか？（59人中）

はい 20人 ← → いいえ 39人

Q. どんな活動に参加していますか？

主に…

ボーリングサークル
水泳
音楽教室

青年会議

カラオケサークル

主に…

買い物

外出

家で過ごす（テレビ、CD）

寝ている

家族・友達と出掛ける

Q. 余暇の部分にどの位お金を使ってもいいですか？



■無回答

■千円以内

■二千円以内

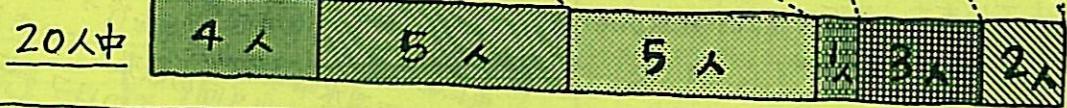
■三千円以内

■五千円以内

■一万元以内

■一万元以上

Q. 実際どの位お金を使っていますか？



■無回答

■千円以内

■二千円以内

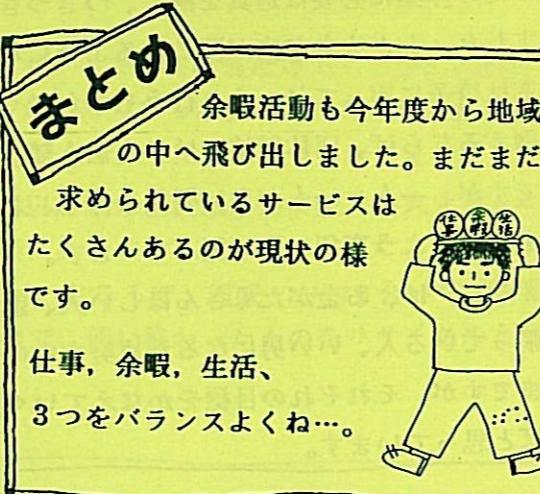
■三千円以内

■五千円以内

■一万元以内

■一万元以上

Q. どんなサービスがあつたらいいですか？



施設の中での余暇支援という古い衣を脱ぎ捨て、街の中へとび出して余暇を過ごす試みが今年度より始まりました。

アンケートを基にボウリング、カラオケ、料理のサークルができ、従来のスポーツクラブはサッカーとアウトドアクラブに、音楽クラブはカラオケサークルになりました。

これらのグループ活動とは別に、個々のニーズに添った個人外出支援も開始しました。直接支援するのはボランティアさん、と徐々に職員の手を離れ、職員は黒子になりました。ボランティアさんのお力を借りて支援していく内に、運営上のこと、利用者の理解のこと、はたまた利用者の意識づけなど問題が浮き彫りになりました。1つづつ前向きに対処していきたいと思います。

できれば一般のサークルにも入れていただきたいと考えていますが、当会のサークルに一般の方に入ってきて一緒に楽しめたら・・・とそんな夢も描いています。こんな夢をもてるようになったのもボランティアさん方のご尽力のおかげと深く感謝しています。

映画に行ってみたい、遊園地で遊びたい、コンサートに行きたい、あのサークルに入ってみたいなど、余暇を有効につかいたいと思っているあなた！まだでしたら、申し込んでくださいね。ネ！ おまちしていま～す。



利用者の皆様へのより良いサービスを目指し、職員の研鑽のため、様々な研修会を随時、企画しております。今年度下半期には、フレンドで相談して下さっている、医学博士竹山孝二先生に定期的にテーマを決めて講演をしていただいたり、企業サイドの方をお招きして貴重なお話しを伺ったり、関係機関との連携の重要性を視点においた企画内容を展開しております。法人外の機関へも研修に関しての情報提供をしていけたらと思います。

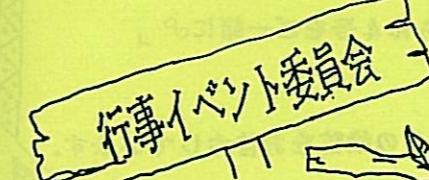


法人内の交流と地域への啓蒙を目的として活動しています。

・スポーツ大会 10月25日（土）パークレーンズ

昨年に引き続き法人の全体行事としてボウリング大会を行い、各エリアの利用者が71人参加しました。ガーター防止柵をつけたことでガーターがほとんどなく、かえってビリヤード風なおもしろみもありました。今回はボランティアさんの参加が多く、22人の方が一緒に楽しい時を過ごし、余暇のスポーツクラブでお世話になっている新町中の生徒さんが15人も来てくれました。天候の心配もなく、個人プレーでありながら、レーン毎にみんなで盛り上がることのできる、文字通り年齢を越えて誰でも楽しめるゲームだと実感できました。

・TBSの緑山スタジオで年に2～3回行われるマウンテンバイクのイベントに、模擬店（豚汁）を出して参加しています。



「選択する福祉サービス」を目指して

後援会代表 白沢 熟

子供の幸福は 親の交流から

父母会会长 斎藤 美砂

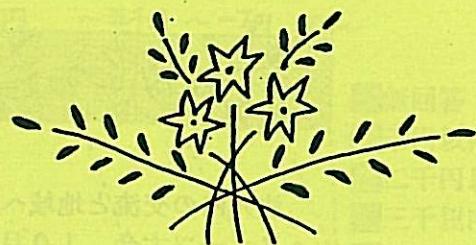
後援会の組織が誕生して満1才を迎えようとしています。発足の発端は新施設建設ではありました、法人全体の支援を目的にしたことは皆さんと共に確認した所です。今後も機会ある如に再確認して行きたいと思います。この間、新施設計画に携わり、作業所の分場化への取り組みもしてまいりました。父母会組織との区別が不明確とのご指摘もありますが、コンピューターに例えれば、後援会はハード部分であり、父母会はソフト部門ともいえるでしょう。つまり大別して建物とか制度面等への支援を担当するのが後援会であり、諸行事を通して人と人との意志疎通、いわば心の面を担うのが父母会でしょうか？

今後の課題を受け売りですが「選択する福祉」と位置づけました。「選択するサービス」の実現は、或は法人のテーマかも知れません。その意味で高齢者福祉も含めこのテーマは法人や行政が先取りするでしょうし、又それを期待しますが、私達受益者の意識改革なくしてその進歩もおぼつきません。やってやる行政から充実したサービスを提供する所を選択する方向は流れです。大いに「サービス合戦」を展開して頂きましょう。法人と父母会プラス後援会が車の両輪となって、この社会実現に向けてお互いが、それぞれの立場で努力することを誓おうではありませんか？「参加と考道」を改めてお願い申し上げます。

父母会は法人すずらんの会の各施設を利用する子どもたちの福祉を支援するために活動しています。施設の充実、会員の教育と研究、社会への啓蒙などが主な事業ですが、今年度は特に、会員の親睦に力を入れて活動してきました。

子どもたちは心の中にいっぱい言葉を持っていますが、障害のせいで自己表現が、稚拙、上手にコミュニケーションが取れません。そんな彼らに変わって、心を読み取り理解し、最良の方向で福祉を実現してゆく必要があります。それにはまず、親どうしが顔みしりとなり打ち解けあって、個々の障害の程度や形は違っていても、全員の問題として道を探ってゆくことが肝要だからです。

福祉とは幸福という意味です。ひとりひとりの力はわずかでも、力を合わせることによって、子どもたちの幸福が見えてくる筈です。親として出来ることを一步一歩踏み締めながら、父母会が歩んでゆけたらと願っています。



今年は記念すべき日本（長野）でのオリンピック開催。
そのオリンピックを見ながら、広報紙作りに励みました。

「お茶のおともに・・・すずらん4号をご一緒に♪」

広報委員会では、今後も皆様からの投稿をお待ちしています。

